

各地域固有の特性や地域資源を最大限に生かし、地域住民が誇りと愛着を持ち、安心して暮らし続けることができる地域づくりを行います

## (6) 温海地域

あつみ温泉をはじめ、地域内の観光入込客数は、新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に減少した一方、教育旅行の受入れ件数は大幅に増加した。また、新たな道の駅が地域の振興に寄与する拠点となるための施策を検討していく。

農林水産資源については、首都圏へのプロモーション活動等によりブランド力が向上したと思われるが、後継者の育成が課題とされる。

地域に即した乗合タクシーの実証運行や高校生の通学支援制度、地域内の共助の仕組みの構築により、地域で暮らし続けられる環境づくりを推進していく。

### (ア) あつみ温泉と道の駅を拠点とした地域振興

- あつみ温泉の目標である「歩いて楽しい温泉街」実現に向けた、専門家の活用及び官民連携した魅力づくりを推進した。
- あつみ温泉の桜並木の再整備と足湯などの滞留拠点の改修支援、「あつみ温泉ばら園」整備を検討した。
- 新たなあつみ温泉のシンボルとして制作された「お湯輿」や、お湯輿まつりの開催を支援した。
- 鼠ヶ関IC(仮称)隣接地への「道の駅あつみ」移転に伴い、整備にかかる地域振興施策の検討を行っている。

あつみ温泉及び鼠ヶ関地区内観光施設の観光入込客数(道の駅含む)

現状値	R3実績値	成果指標
478千人 (2017年度)	<b>240千人</b> (2021年度)	820千人 (2028年度)
	進捗：C	

教育旅行受入れ学校数

現状値	R3実績値	成果指標
2校、 (日帰り) (2017年度)	<b>43校</b> (宿泊31校、日帰り12校) (2021年度)	12校 (宿泊6校、日帰り6校) (2028年度)
	進捗：A	

上段：越沢三角そばの栽培面積  
下段：焼畑あつみかぶの販売単価

現状値	R3実績値	成果指標
25,160㎡ 209円/kg (2017年度)	<b>102,280㎡</b> <b>208円/kg</b> (2021年度)	80,000㎡ 230円/kg (2028年度)
	進捗：A	

### (イ) 自然・歴史・文化を生かした交流人口、関係人口の拡大

- 教育旅行の誘致や体験型観光を推進する温海地域内のNPO法人を支援し、旅行や観光の受け入れ拡大を図った。
- 関川しな織センターを拠点としたイベント(山菜を活用したイベント、体験型イベント、しな織まつり)の開催や、しな織をはじめとした地元産物の販売促進への支援を行い、関川地区の交流人口の拡大を図った。
- 中学生から20代の若者を対象にSNSを活用した情報発信講座の開催、東京大学フィールドスタディ型政策協働プログラムや大学生を対象としたビジネス研修の受入れ等による関係人口の創出を図った。

### (ウ) 農林水産資源のブランド化

- 焼き畑あつみかぶの生産振興やPRツール(ロゴマーク、パンフレット、マグネット、PR用被り物等)の活用、越沢三角そばの加工品開発やプロモーション活動への支援を行い、認知度の向上に取り組んだ。
- 羽越しな布の技術研修、後継者育成等の取組支援や、慶應先端研等と連携した「しなの木の花」を活用したオーガニックコスメの商品化に取り組んだ。

集落ビジョン策定自治会数

現状値	R3実績値	成果指標
11自治会 (2018年度)	<b>12自治会</b> (2021年度)	27自治会 (2028年度)
	進捗：B	

### (エ) 海・山・自然豊かに暮らし続けられる環境整備

- 住民ワークショップや記録、資料の編集等による集落ビジョン策定を支援した。
- 乗合タクシー実証運行の開始や高校生等の通学費に対する支援事業等を実施した。
- 生活支援コーディネーターとの連携による高齢者の買い物支援などの生活支援と、地域の主体的な活動支援や国事業の活用による除雪ボランティア体制の構築を支援し、生活環境の維持に努めた。

施策の成果指標(KPI)の「進捗」について

- 『A』：成果指標とする数値を達成した又は達成に近い状況である
- 『B』：成果指標とする数値の達成に向け概ね順調に推移又は現状値(初期値)から進展がある
- 『C』：現状値(初期値)から進展がない又は後退した